

平成三十四年度 企画展

絵図にみる 近世秋田

期間

前期 8/24(金)～9/23(日)

後期 11/21(水)～12/16(日)

〈休館日9/3(月)・12/3(月)〉

時間

10:00～17:00

会場

公文書館 2階特別展示室

Akita Prefectural Archives
秋田県公文書館

ごあいさつ

絵図は絵画的手法により目的に応じて地形や建造物などを表現するために作製されたもので、当館では主に江戸時代に作製された約2,600点の絵図を所蔵しています。絵図は、貴重な歴史的資料として原本の保存につとめながら、魅力的な資料として多くの方々にご利用いただいています。

当館では、所蔵する絵図の中から主なもの約800点の撮影とデジタル画像化を行い、平成24年度からモニターを通してどなたにも手軽に絵図を閲覧していただけるようになりました。

当企画展はその事業成果を活用しながら、県指定有形文化財の絵図をはじめ皆さんの興味を引く絵図を多数紹介し、近世の秋田を概観します。

プロローグ

この企画展では、当館が所蔵する絵図を広い世界から徐々に範囲を狭めながら私たちのよく知る身近な地域へと導くようにコーナーを設置しました。

江戸時代の絵図は手描き図と出版図があり、なかでも手描き図は概して図面が大きく写実的でカラフルなことが特徴です。その分類も「国絵図」「町絵図」「村絵図」「城下絵図」「道中絵図」「川筋絵図」「裁許^{らいし}絵図」などさまざまであり、それぞれ目的を持って作製されています。

図面の余白（畧紙）に統計的諸事項などが記載された「端書^{はしがき}」や、末尾に製作年・責任者名等が記された「奥書^{おくがき}」なども絵図を理解する上で貴重な情報です。



地球図（乙-152-2）

司馬江漢（1747～1818）による
我が国最初の銅版画の世界地図



三国通覧輿地路呈全図（乙-159-4）

林子平（1738～93）が刊行した
「三国通覧図説」5図中のひとつ

日本図・東国絵図

このコーナーでは、日本図や各地の絵図を紹介します。

寛永10年（1633）、幕府は各地に巡検使を派遣して各地の国情を監察させ、その成果をもとに日本図が集成されました。幕府が編集した日本図としては、寛永期の日本図2種類、正保日本図、元禄日本図、享保日本図などが知られています。

展示している「東国絵図」と「日本六十余州図」は、寛永日本図を参考に作製されたものと考えられています。城下名や古城、街道沿いの村名の記し方など、構図や記載方法は似かよっていることがわかります。



日本全図（AH290-2）

当時浮世絵師が盛んに描いた鳥瞰図^{ちようかんず}の類いです。

右上の蝦夷から弓状に本州・四国・九州を描き、壱岐・対馬の先に朝鮮の文字がみえます。

秋田地方には久保田と本荘に城が描かれています。



常陸国14郡絵図（県C-377）

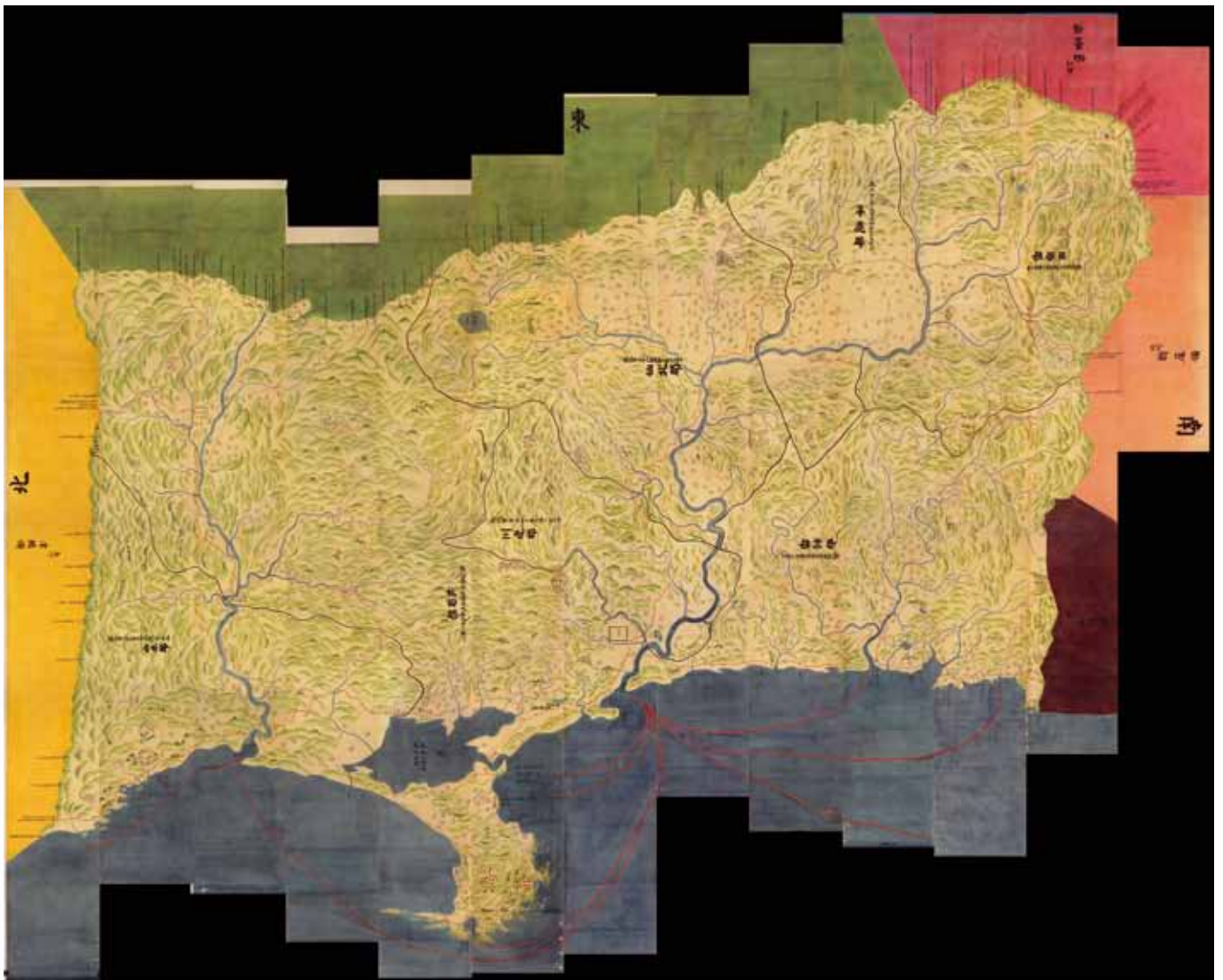
宝永7年（1710）に作製された「御文書并御書物帳目録受取渡目録」（資料番号AS-029-1）の中に「東国絵図十一通、上総、下総、上野、下野、武蔵、相模、常陸、出羽、陸奥、安房、及古河等ノ図也、元禄十丁丑、江戸ニ於テコレヲ写ス」とあり、幕府のもつ国絵図を写して秋田藩で所有していたことがわかります。

国絵図・領分絵図

このコーナーでは、出羽国絵図のほか秋田藩に関わる境争論や領内調査の結果作製された絵図などを紹介します。

幕府が諸国の主要大名に命じて実施した大がかりな国絵図作製は、慶長・正保・元禄・天保期の4度にわたって行われました。なかでも正保・元禄・天保期の国絵図は全国的規模での命令であり、集められた国絵図は幕府の官庫^{かんこ}へ収納され、藩では幕府に提出した国絵図の控が大切に保管されました。

一方秋田藩には、藩境をめぐる争論を経て幕府の裁許の際作られた裁許絵図や領内調査の結果作製された絵図も多く残されています。



出羽国七郡絵図（県C-431-1～13）

「出羽国七郡絵図」は幕府が提出させた天保国絵図と大きな関わりがあると考えられています。先に元禄国絵図を作製したとき森吉山を盛岡藩との藩境に描くという間違いを犯した秋田藩は、享保年間の領内調査を経て、天保期にようやく訂正した絵図を幕府に提出することができました。

●当館所蔵の主な国絵図・領分絵図

出羽一国御絵図（県C-603、正保4、県指定有形文化財）

出羽七郡絵図（県C-602、元禄年間）

出羽国七郡絵図（県C-431-1～13、県C-432-1～13、県C-433-2～12、天保年間）

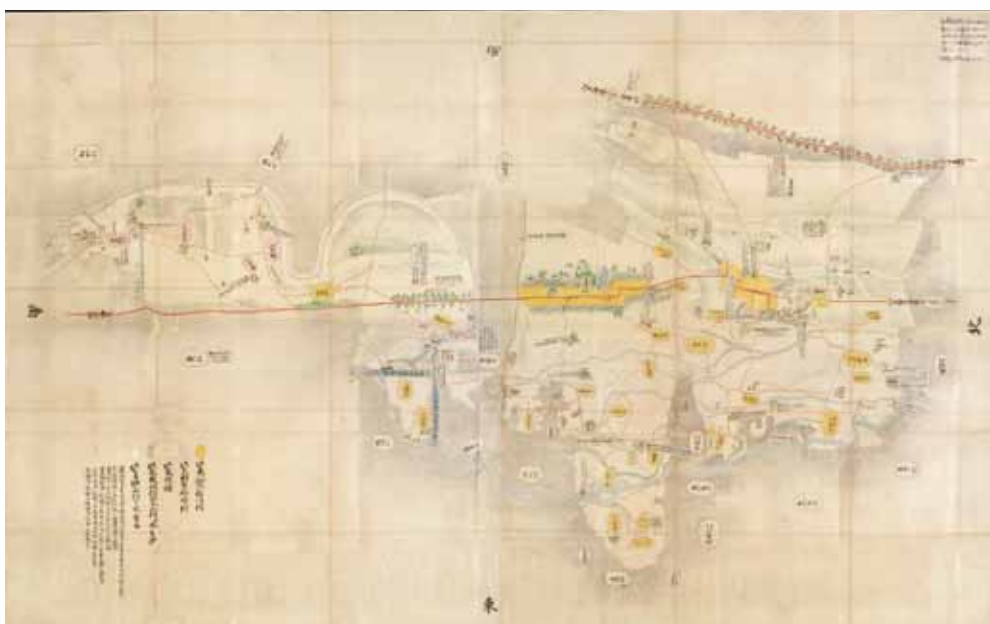
出羽国山本郡大沢村与同郡北野目村并寺館尻引村谷地論絵図（県C-140、寛文12）

下野国都賀郡下茅橋村与上茅橋村野論裁許絵図（県C-404、元禄3）



八沢木村羽広村裁許絵図（県C-320-2）

元禄13年（1700）、秋田・
亀田の藩境の保呂羽山を巡
る争論の結果、幕府は「官
庫の絵図」、つまり正保国
絵図を参考に、保呂羽山は
秋田藩のものと裁許をして
います。



野州御領絵図（県C-392）

現在の栃木県下野市・小山
市には秋田藩下野領がありま
した。慶長年間に佐竹義宣が
将軍から拝領しました。

寛永期の秋田藩下野領
は、河内郡の薬師寺村・仁良
（葦）川村など8か村、都賀郡
の萱橋村など3か村計11か村
で、惣石高は5,419石8斗6升で
す。御鷹野場として拝領され
たこの地に、義宣は在府中た
びたび訪れています。

城下絵図

常陸から秋田に移された佐竹氏にとっては、この地での強力な支配体制の確立が急務でした。久保田城の築城(慶長7年(1602)完成)を急いだほか、戦国時代以来の小城下町に支城を構築したり、旧城を改築し家臣団を常駐させるなど政治・軍事の両面からの支配を進めます。

その後、元和元年(1615)に幕府が発した一国一城令により佐竹氏は支城を解体し所預^{ところあずかり}を配置していきしましたが、幕命に忠実な佐竹氏の姿勢に、二代将軍秀忠は^{ひでただ}大館・横手の二城の存続を許可しました。

このコーナーでは、秋田藩の3つの城下絵図を紹介します。



御国目付下向之節指出候御城下絵図 (県C-179)

文化12年(1815)7月に9代義和^{よしまさ}が死去し、10代義厚^{よしひろ}が4歳で家督を継ぎました。この絵図は文政4年(1821)義厚が10歳のとき国目付下向の際提出された絵図の控です。国目付とは、大名が幼少のうちに家督相続したときなど幕府が臨時に諸藩へ派遣した監察役人のことです。

石垣がほとんどなく天守閣も造られなかった久保田城や、内町・外町などの様子が簡略に描かれています。

●当館所蔵の主な城下絵図（久保田）

御城下絵図（県 C-165、寛保2、県指定有形文化財）

御城下絵図（県 C-599、宝暦9、県指定有形文化財）

出羽国秋田郡久保田城絵図（県 C-173、正保4、県指定有形文化財）

出羽国秋田郡久保田城絵図（県 C-174、正保4、県指定有形文化財）

御城下御要害下絵図（県 C-175、年未詳、県指定有形文化財）



大館御城下絵図（県 C-189）

元禄16年（1703）、3代義^{よし}処^{ずみ}が死去し、4代義^{よし}格^{ただ}が10歳で家督を継ぐと、同年より翌年にかけて国目付が派遣されました。この絵図はその際提出された絵図の控です。久保田城同様、石垣のない土居造りや、大手門から片町・金坂町までの外堀、城の四周にある寺院、城郭の周囲に植えられている多くの松などが特徴的です。



横手御城下絵図（県 C-23）

弘化3年（1846）9月に10代義^{よし}厚^{ちか}が死去し、11代義^{よし}睦^{ちか}が8歳で家督を継ぎました。この絵図は嘉永2年（1849）国目付下向の際提出された絵図の控です。

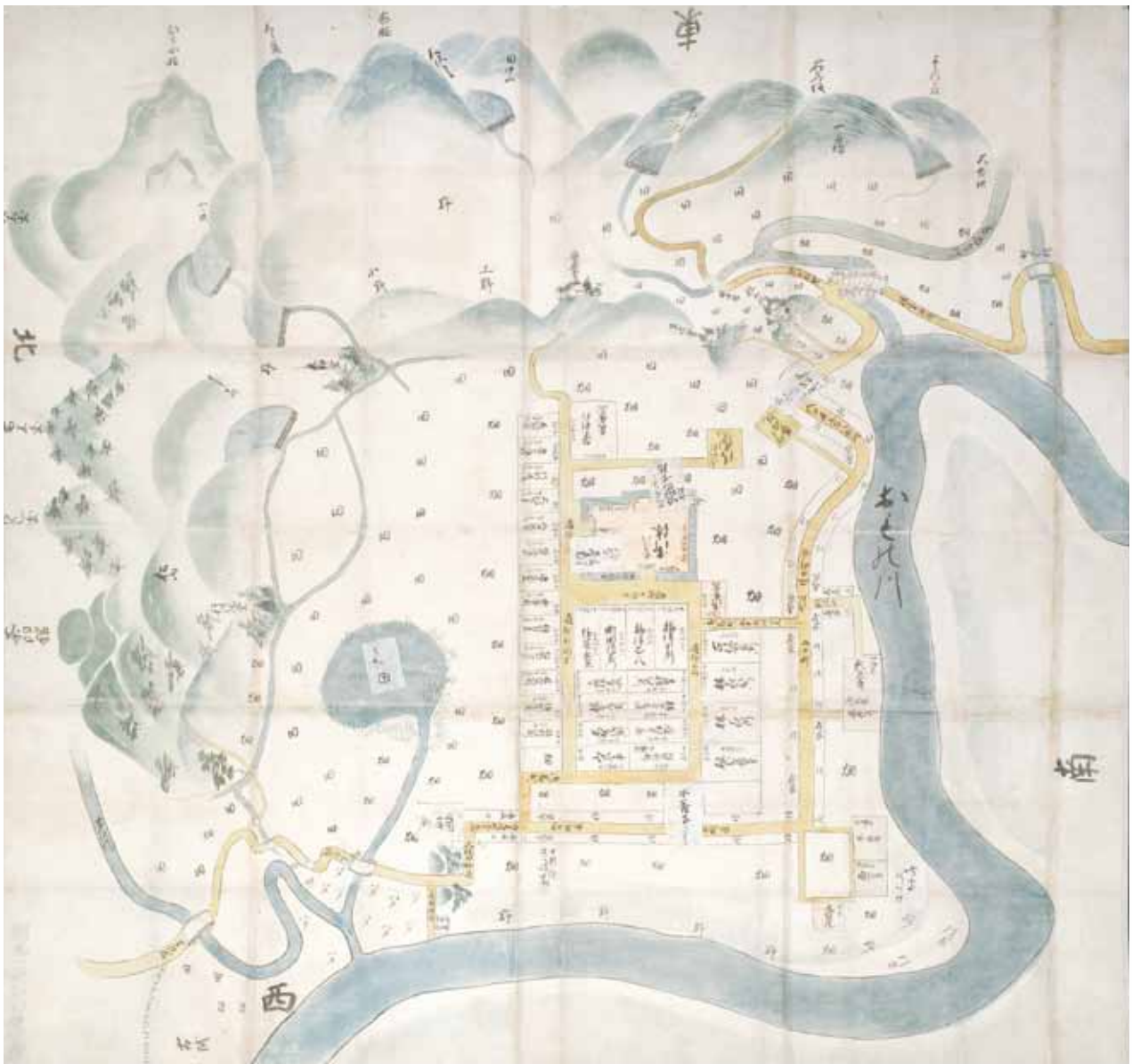
大手門に通じる急な七曲坂の階段が特徴である横手城や、天仙寺付近で湾曲していた横手川を土木工事により直流させ内町を形成した様子がわかります。

町絵図・村絵図

このコーナーでは、秋田藩の町絵図・村絵図を紹介します。

展示した町絵図は、山本郡絵図や秋田郡絵図と同様、享保期に^{いまみやだいがく}今宮大学が行った領内調査のなかで作製されたものです。当館では、所預が置かれた院内・湯沢・横手・角間川・刈和野・角館・檜山・大館・十二所のうち角間川と十二所を除く7カ所の給人町絵図を所蔵しています。

村絵図は支配者の意向によって統一的に作製されたもののほか、新田開発、川土手の普請、村境や入会地^{いりあいち}をめぐる紛争などさまざまな出来事の折に、必要に応じて個別に作製されることがありました。



仙北郡刈和野一圓之図（県C-91）

刈和野には^{しおえ}渋江氏と組下給人や足軽が配置されました。「御休」（御本陣）を中心に特に内町の様子が詳しく描かれています。雄物川から寺院～町人町～御足軽町～内町と警護体制を固めた町づくりであることがわかります。

●当館所蔵の主な町絵図・村絵図

- 大館絵図（県C-190、享保13、県指定有形文化財）
- 檜山一圓絵図（県C-119、享保13、県指定有形文化財）
- 仙北郡刈和野一圓之図（県C-91、享保13、県指定有形文化財）
- 仙北郡角館絵図（県C-95、享保13、県指定有形文化財）
- 横手絵図（県C-21、享保13、県指定有形文化財）
- 湯沢絵図（県C-4、享保13、県指定有形文化財）
- 院内一圓之図（県C-6、享保13、県指定有形文化財）



土崎諸番所之略図（AH312-272）

穀保町の米蔵を中心とした町絵図です。いくつもの番所があり、出物・入物の担当が分かれていたことがわかります。導船とは穀保町の倉庫から、取引のできた米を上方から移入品を積んで来た船へ運ぶことを業とした者であり、土崎湊町特有の職業です。



山本郡常葉村絵図（県C-143）

寛政10年（1798）、^{ときわ}常葉村と^{とくわ}槐村の草飼場をめぐる裁許絵図です。両村の八森道の認識の相違が絵図中に記載されています。この紛争に対する郡奉行の裁許は、常葉村地内にある槐村の荒畠を認めたり、草飼場は従来どおり入会とすることなどが決まりました。両村では天和2年（1682）と享保18年（1733）にも同様の紛争が起きています。

絵図データベース

当館では、これまで所蔵資料の自然劣化に備えるとともに原本利用による人為的劣化を避けるため、資料のデータ化・マイクロフィルム化と複製本や複製絵図の作製を進めてきました。さらに今後は、災害への対応という観点からもデジタル化による管理のあり方が重視されてくるものと思われます。

このコーナーでは、当館が行った「絵図撮影・デジタルデータ化事業」の作業風景や絵図モニターの使用方法を紹介します。県内はもとより全国的にも先駆となる事業であり、完成品の出来栄えも満足していただけたと思っています。興味を持った絵図がありましたら、ぜひ絵図モニターのある2階閲覧室においでください。

●作業風景



絵図を磁石で固定するための鉄板を壁一面に設置します。



約1メートル四方に分割して撮影し、データ上で合成します。



絵図のしわをのばしながら、高さを調整し絵図を慎重に移動させていきます。



大型絵図は櫓を組んで絵図を上から撮影します。

●絵図モニター使用方法



「検索スタート」ボタンをクリックすると、「検索データベース画面」に入ります。約800点の絵図画像と資料名・基本情報が詳しく掲載されています。

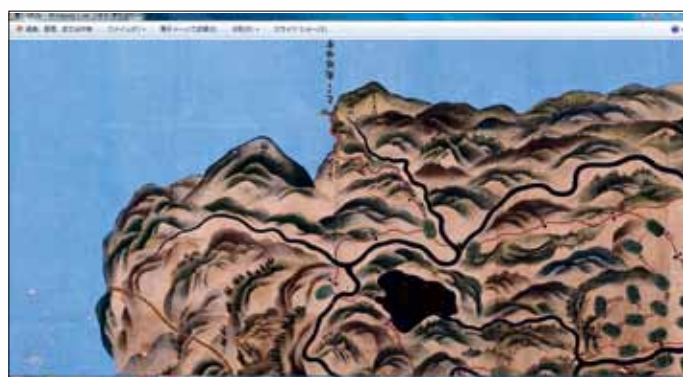
興味ある絵図画像をクリックすると、その絵図の全体図に画面が変わります。



特定の絵図を探すときはキーワードを入力すると検索が可能です。「国絵図」と入力してみました。資料名や基本情報から、多くの国絵図が検索されました。



全体図は自由に移動・拡大させて絵図に記されている内容を細かい部分まで読み取ることができます。



「出羽一国御絵図」から田沢湖・駒ヶ岳近辺と現秋田市周辺を拡大してみました。絵図モニターは誰でも手軽に操作できます。

●展示資料リスト

	資料番号	資料名	和暦	西暦	寸法(cm)	前後期
	乙-152-2	地球図	寛政 4	1792	54×87	
	乙-159-4	三国通覽輿地路呈全図	天明 5	1785	53×78	
I	AH290-2	日本全図	天保11	1840	39×52	
	AH203-2	佐竹旧領書入水戸絵図	未詳		53×85	
	県C-380	下総国11郡絵図	未詳		108×84	前期
	県C-384	武蔵21郡絵図	未詳		125×159	後期
	県C-377	常陸国14郡絵図	未詳		115×159	
	A290-114-28	日本六十余州国々切絵図山城国	未詳		101×135	
II	県C-603	出羽一国御絵図	正保 4	1647	1225×535	
	県C-602	出羽七郡絵図	元禄年間		625×726	
	県C-431-1～13	出羽国七郡絵図	天保年間		13分割	
	県C-344	奥州南部領鹿角郡花輪村毛馬内村与羽州秋田領沢尻村十二所村味噌内村茂内村別所村扇田村大館山境論争之事裁許申付覚	延宝 5	1677	123×322	前期
	県C-320-2	八沢木村羽広村裁許絵図	元禄13	1700	295×368	後期
	県C-392	野州御領絵図	天和元	1681	137×219	
	A290-114-74	江戸より参候七郡小絵図写	享保 9	1724	52×74	
	A290-114-116	山本郡絵図	享保10	1725	102×148	
	A290-114-118	秋田郡絵図	享保10	1725	154×119	
III	県C-179	御国目付下向之節指出候御城下絵図	文政 4	1821	185×231	
	県C-23	横手御城下絵図	嘉永 2	1849	143×185	
	県C-189	大館御城下絵図	宝永元	1704	138×183	
IV	県C-119	檜山一圓御絵図	享保13	1728	172×233	前期
	県C-91	仙北郡刈和野一圓之図	享保13	1728	126×133	後期
	県C-6	院内一圓之図	享保13	1728	229×272	前期
	県C-4	湯沢絵図	享保13	1728	417×187	後期
	AH312-272	土崎湊諸番所之略図	未詳		25×60	
	県C-143	山本郡常葉村絵図	寛政10	1798	62×82	
	A290-114-113	米代川絵図	未詳		85×337	
V	県C-110	百三段新屋滝之下台場絵図	未詳		55×78	前期
	県C-144	山本郡機織村草飼場絵図	寛政10	1798	32×82	前期
	県C-111	戸嶋和田村近辺村絵図	未詳		117×194	前期
	県C-280	平沢矢島伊勢居地絵図	未詳		144×114	前期
	地6	羽州秋田寺内旧路名所之図	未詳		79×112	後期
	県C-98	仙北郡田沢潟絵図近山村々	未詳		112×189	後期
	県C-598	海岸絵図	嘉永 2	1849	235×535	後期
	県C-162	太平山山上之図	未詳		27×39	後期

Akita Prefectural Archives
秋田県公文書館

〒010-0952 秋田市山王新町14-31
T E L : 018-866-8301 F A X : 018-866-8303
U R L : <http://www.pref.akita.lg.jp/kobunsvo/>

